

第59回

そろばん優秀生徒表彰式典

平成26年4月20日(日)

ホテル大阪ベイタワー



No. 320

発行所

公益 全国珠算教育連盟
社団法人 大阪府支部

http://www.web-g.jp/osaka88/

E-mail osaka88@web-g.jp

〒552-0001

大阪市港区波除2-8-14

TEL 6583-6222

発行者 櫻井行雄

編集者 上村亘

印刷 広報部



表彰式は、君が代・全珠連歌斉唱の後、櫻井支部長が挨拶した。支部長は、一つ覚えて帰ってくださいと前置きした後、「そろばん塾のルーツを探ると、伊勢の百日算にたどり着きます。37ケタもある長いそろばんを使って、「十三商割り」など、割り算を中心に練習をし、一年間に1000日

の練習をしたことから百日算と名づけられました」と話し、「師範になるために、一日に16時間もの練習をしたといわれています」と続けると、会場内から大きなよめぎが起こった。「先達が創った素晴らしいそろばん文化を次の世代に引き継ぐため頑張っていきたい」と抱負を述べると共に、表彰生徒にはさらに高い目標をもって、邁進して頂きたいと述べ挨拶を締めくくった。

平成26年4月20日(日)、午前10時からホテル大阪ベイタワーにおいて、第59回そろばん優秀生徒表彰式典が開催され、本部表彰1252名・支部表彰150名の合計402名が表彰を受けた。

また、梶川理事長の代理として祝辞に立った、澤田研修学教委員長は、「何事にも、挑戦できる力」をつける事を目標に、努力してください」と話しした後、保護者には「子供達にもっと頑張ろうね」ではなく、「今日もよく頑張ったね」と声掛けをし、褒めて頂きたいと挨拶をした。

来賓祝辞が続いた後、優秀生徒表彰が行われ一人ずつ壇上で支部長から表彰状を受け取っていったが、特に支部表彰における小学校低学年の子供たちが表彰を受ける時の、はじけるような笑顔が素晴らしく、印象的であった。

表彰の後は、生徒作品で作文の部において最優秀賞に輝いた、川島麻衣さん(高校2年)が、作文を披露。珠算における最終目標は何なのかとの問いかけに、心の葛藤を理論的に追求した文章を落着いてゆつくりと読み上げ、最後に「そろばん大好きです」と読み終えると会場から大きな拍手が起こった。





午前 11 時 40 分に表彰は終了。終了後はアトラクションが行われ、代表の生徒が壇上に上がって 1 桁のフラッシュ暗算に挑戦。会場内もいっしょになって答えを出した。最後に笹野健夫氏が持つギネス記録 1・70 秒 (3 ケタ 15 口) のフラッシュ暗算が、スクリーンに映し出されると、悲鳴にも似た歓声が沸き起こった。何度見ても驚かされる映像である。最後抽選会が行われ 12 時過ぎに式典は無事終了した (上村)



フラッシュ暗算代表生徒



十段位暗算表彰



生徒作品最優秀賞表彰



食事会でのスナップ写真

健康ひろば

第7回

★心房細動の治療のポイント

心房細動の治療には 2 つのポイントがあります。一つには脈拍に対する治療です。以前は心房細動になったら、できるだけ元の正常なリズムに戻すようお薬や電気的除細動 (いわゆる「電気ショック」) を行ってきました。そのため、再発するたびに不整脈薬のお薬がどんどん増えたり、度々電気的除細動が行われる事がありました。

しかし、最近はずっと正常なリズムに戻すことに固執せず、心房細動であっても脈拍が一定の範囲に調整する治療を行うことも多くなりました。

むしろ重要な事は、治療の 2 つめのポイント、合併症である脳梗塞をしっかり予防する事です。そのためには、よく「血をサラサラにする薬」といわれる抗凝固薬を使用します。

これまではワルファリンという薬しかなかったのですが、多くの方がこの薬を飲んでいました。納豆や青菜が食べられないなどの食事制限がある、定期的に血液検査で効果を確認し患者さんごとに飲む量の調整が必要であるなど種々の問題点がありました。しかし、数年前よりワルファリン以外の新しいタイプの抗凝固薬が登場し、現在 3 種類使用可能になりました。これら新薬は、ワルファリンと同等の脳梗塞予防効果があり、かつ食事制限がなく、効果判定のための血液検査が不要で、投与量の調整もほとんど必要ありません。このように脳梗塞の予防方法も進歩していますので、心房細動のある方は、一度担当の先生と相談してみてください。

次回、狭心症についてお話しする予定です。

大阪市立大学医学部
医学博士 花谷 彰久

6・8月検定試験のお知らせ

(珠算 4～10 級・暗算 1～6 級)

申込み締切 6 月 4 日 (水)・8 月 6 日 (水) 午前 10 時迄
結果報告締切 6 月 23 日 (月)・9 月 1 日 (月) 午前 10 時迄

*期日は厳守してください *受験者増加をお願いします

平成 26 年度全日本珠算選手権大会

開催日 平成 26 年 8 月 8 日 (金)

会場 国立京都国際会館
(イベントホール)

住所 京都市左京区宝ヶ池



創立60周年記念式典
盛大に開催

本部創立60周年記念式典が、平成26年3月30日(日)、東京のグランドプリンスホテル新高輪「飛天」において挙行された。

広々としたホテルロビーには、多くの外国人の出入りもあり、さすが東京の品川駅に位置するホテルであると実感できる。花見の時期とも重なってロビー内は多くの人出でぎわっていた。

午後2時、記念式典は研修学教委員長・澤田悦子氏の司会で進行した。

始めに、物故者黙祷が行われた後、梶川理事長が挨拶。理事長は「特筆すべきは、25年度からの公益社団法人への移行である」と語り、「今後は生まれ変わった連盟を育てるために、一丸となって取り組んでいきたい」と決意を述べられた。また、児童数が減少している中で検定受験者数の増加は、皆様の努力の賜物であると感謝をされた。そして、連盟において60周年を「進化元年」と定め、「珠算」と「暗算」を両輪として、年々進化させていくことを誓い挨拶を締めくくった。

挨拶の後、全珠連誕生から60年間の歩みをスライドにして、スクリーンに鮮やかに映し出され、その思い出のシーンに感激深くうなづく参加者も見られた。名譽会長挨拶では、山崎直子氏が「宇宙飛行士は多種多様の訓練が必要である。そろばんにおいても、多種の技術を指導し【生きていく力としての教育】に尽力をされている先生方に感謝していただき」と話した。祝辞に続いて表彰等が行われ、午後3時30分に式典は終了した。

式典終了後、午後4時30分から、同じ会場で祝宴が開催された。勇壮な和太鼓が会場内いっぱい響き渡り、座っている床が震えているように感じられるほどの迫力ある和太鼓の打ち鳴らしから始まった。



コース料理が各円卓に並べられ、うまい料理と酒を堪能しながら、会話の花があらゆるテーブルに咲き、和やかなムードに包まれた。途中、抽選会をはさみながら進行した祝宴も7時30分に終了。終了後は各自が思い思いの場所に移動し分かれていき、夜が更けるまで宴会は続いたようだ。(上村)

本部60周年記念式典(創立時会員功労感謝)
 大阪府支部
 守坂 方之
 芝野 健次
 おめでとーございませう



司会の澤田悦子氏



つらぬいた人生であった」と語った。最後に始めに紹介をしていた書いた書を再度見た時は、書に人生というものを垣間見たような気がした。

午後1時30分からは「算数教育とそろばん」と題して、パネルディスカッションが行われた。40年前からそろばんは「速算だけではもう危ない！」と言われ続けて永遠のテーマになっていく、との問いから出発。算数教育が目指しているといわれる“考える教育”を目指しても個々の能力が落ちてきていないという現状をとらえ、計算力がついていない子供は応用力もつかない。計算力は繰り返し繰り返し返して行っていくことが大切であると基礎の大切さを強調するとともに、そのもとで数学的な考え方（筋道を立てて考える）としての応用力をつけていくことが大切であると語った。(上村)

日本そろばん資料館

4月1日(火)朝8時30分、大阪府支部の研修旅行においてメイン研修の一つである、日本そろばん資料館見学に行くため、チャーターしているバスに乗りこんだ。前日の研究会の疲れもあるかと思いきや、朝早くから準備万端。意気揚々と見学に向かった。

日本そろばん資料館は、東京事務局の1階に常設された資料館だが、まず目に付くのは、大きな全珠連マークである。最上階外部に取り付けられた全珠連マークは、大理石仕様の壁に相まって黄金色に輝き、その存在感を増しているように感じた。ガラス張りの入り口から見た飾り棚は、大そろばんをイメージしたモニUMENTになっていると聞き、確認すると、なるほど！大そろばんに見える。



入り口から驚く設計。まずまず期待が膨らんでくる。先に入っていた団体の見学が終了した、午前10時より、大阪府支部は見学開始。まず、谷賢治先生の説明でそろばんの歴史を拝聴。紀元前3000年〜同2000年のメソポタミア文化における砂ソロバンから現在に至るまでの歴史の経過であるが、特に読上算を読むときに必ず最初という言葉「ねが

いましては」の掛け声。この掛け声はどこから来たのか。江戸時代まで数字(漢数字)が縦に書かれており、それに対してそろばんは横に計算をする。縦の数字をそろばんで計算するのは不便なので、必然的にもう一人が数字を読む役に廻る。その時の掛け声が「お願いします」である。それが「ねがいはしては」の始まりである。聞くとなるほどと思う。私は、ボランティアで学校に行き読上算をする

と、必ず「ねがいはしては」というので生徒に「何をお願いするの？」と聞かれて、その答えに窮していたが、これで大丈夫！

古そろばんの説明は太田敏幸先生。西暦1570年頃に、そろばんは堺、もしくは長崎に伝わったとされている。それ以降、雲州・芸州・大津など9地域で生産されたが、それぞれ産地別にそろばんを見分ける方法があるという。一見同じように見えるそろばんだが、そろばんの角のめ込みを見れば産地が分かるという。また、竹の太きでもわかるという。竹が細い(大津)、太い(名古屋)、竹を削ることなくそのまま使用している(長崎)。見て触ってなるほどと感心させられた。



次のコーナーではそろばんグッズと変わらぬ種そろばん。ずらっと並べられたグッズの数々。説明はもちろん大阪府支部の大垣憲造先生である。微妙な角度で少しずつ傾斜したそろばんは、貯金局で使われ、早くはじくために少しずつ傾斜して

いるのだそう。今、使っても十分通用しそうな気がするが。



そろばんが描かれた貴重な切手など、展示に工夫を凝らしている。また、その奥には、割算書や江戸時代のベストセラーともなった塵劫記をはじめとする重要な書物が数々と収められており、その書物の貴重な説明を聞くこともできる。1時間程しか見学をする時間になかったが、少しそろばんの物知り博士に近づいたかなという気にもさせられた。上村



支部研修旅行

平成 26 年 3 月 31 日、夕方まで行われた研究集会後、浅草での夕食・スカイツリー見学へ行きました。

研究会での相田一人さんの講演や、その他先生方の発表などの感想を語り合いながら、興奮冷めぬままバスに乗り込み出発しました。明るく・楽しい大阪府支部の先生方。車内は終始笑い声が高らかに響き、話している内容がわからなくても、笑い声で笑ってしまう！そんな不思議な一体感。車窓からは所々に満開の桜を見ることができ、とても幸せな気持ちでバスに揺られることができました。

で記念撮影。夕食後は、浅草寺周辺をぶらりお散歩。

仲見世では満開の夜桜に心奪われながら、焼きたての人形焼をいただきました。

そろそろ集合して出発という頃、「強風で今、スカイツリーのエレベーターが停まって

いる」嫌な情報が舞い込んできました。聞いた瞬間、ええ〜！と思いましたが、とても幸せに時が流れていたせいか、きつと大丈夫。

と確信のない強い自信がありました。夕食の程良い美味しいビールもそんな気持ちにさせてくれたひとつの要因だと思えます。

スカイツリーに到着 エレベーターは動いていました。やつぱり！大阪府支部の先生方は強運です。

いざ、展望台へ。地上 4 階から 350 m の第 1 展望台まで分速 600 m のエレベーターで 50 秒。

「わあ〜早い！」「耳がおかしい」「うわっ！あつという間やつたなあ」と大はしゃぎ。

エレベーターの扉が開くと「うわあ〜」と、キラキラの夜景に歓声が上がりました。

360 度見渡せる夜景。前夜が雨だったからか、遠くまで澄んでいて、とても綺麗でした。

私は 2 度目の展望台でしたが、前回は天気の良い朝で印象が全然違いました。どちらも素敵です。

せつかく来たから、迷わず 450 m の第 2 展望台へ。素敵な東京の夜景を堪能しました。

再度第 1 展望台まで降りてくると、次は足元が透けているガラス床。「うわあ！こわいわあ」とキヤーキヤー少女のような声を上げながら、しつかり踏みしめニッコリ笑顔。スタッフの人にのせられて

その頃、強風でエレベーターが止まっていたのですが、降りようとするすぐに動き出しました。自由時間いっぱい使って、たっぷりと楽しみました。

入会して 1 年目の私には、何もかもが初めてで不安だらけの毎日ですが、地区の先生はもちろん、大阪府支部の先生方からも、暖かく声をかけていただき、大きな力となっていました。

今回の研修旅行では、先生方と交流を深めることができ、とても幸せな気持ちになれました。

ありがとうございます。第 2 地区 脇坂周子

第 2 地区 脇坂周子



ありがとうございます。第 2 地区 脇坂周子

平成25年度 支部臨時総会開催



平成26年4月13日午前10時から、ホテル大阪ベイタワーにおいて、平成25年度臨時総会が開催された。

開会の前に2月26日にご逝去された、5地区の金柁氏及び物故者に対し黙祷をささげ

た。その後珠算事業功績を称え、自由民主党安倍総裁から大阪府支部(澤田悦子・山口勝義・櫻井行雄・大島政則)の4名に感謝状が贈られました。

櫻井支部長の挨拶の後、顧問代表山口勝義氏に、挨拶をいただいた。

本部・支部・近畿ブロック・近畿連合の状況報告において、支部長が概ね次のように語った。

○ 本部60周年記念式典・研究集会の開催についての報告

次回は、27年3月29日(日)に鹿児島県で開催。

○ 26年7月検定より、準三段・準参段・準四段の合格段位

の新設(26年3月・5月検定の点数も加味されま

す) ○ 全日本通信珠算競技大会が、今年度より中学生以上の問題改正がありま

す。 ○ 十段位合格者以上の珠聖検定の実施(28年度5月検定から実施の予定)

○ 珠算教育研究所より、算数検定の実施(時期は未定)

○ 検定受験料は今年度、据え置きされます

等の話があった。支部状況報告では、60周年行事の一環として行われた支部研修旅行を報告。また、支部60周年記念誌が、大垣憲造氏を中心に無事

発行できた事への感謝を述べた。さらに、4月6日に、支部でおこなわれた全日本珠算選手権大会の選考会において、新名哲也・藤田

達成・大内悠聖の3名が代表となった事を伝

えた。 そろばんボランティアでは238校の小学校からの要請があり、地道なPR活動の1つ

として、できるだけ多くの支部先生方のボランティア登録を要請した。

総会成立宣言行われた後、議長団(議長・小山千明氏、副議長・西岡佳一氏、高倉伊都子氏、書記・藤井美保子氏、支部事務局、議事録署名人・安田イワ

ミ氏、湊隆之氏)が選出され議題審議に入

った。 始めに支部長は、本部公益法人取得に関連し、各教室に於いて、今後は指定教場の名称は使わず、正会員もしくは正会員指導教場として頂きたい旨の要請が本部からあったことを伝えた。

議題 平成26年度事業計画案・収支予算案承認の件は、拍手をもって承認された。

その他の件において、山口大仁氏・新名哲也

氏より、全日本通信珠算競技大会大阪府大会において、他府県に在学している生徒が、大会に参加するだけではなく、個人として表彰されている件について、通信競技への参加の可否と、大会での表彰は

不可ではないのかと質問事項があり。これに対し、支部長は他府県からの参加は、本部の規定に基づき隣接府県参加は可能として運営しているとし、大会での表彰も認めていくべきではないかと答えた。最後に山口大仁氏が、澤田本部理事に各都道府県が通信珠算競技大会での表彰をどのように実施しているのか確認していただきたいとの要望があった。

午前11時50分臨時総会は終了した。

(久手堅大成)



全日本選考会



4月6日に行われた、全日本珠算選手権大会の選考会は、参加者数(小学生7名・中学生10名・高校・一般8名)25名が参加して午前10時より行われた。都道府県代表は、小学生・大内悠聖、中学生・藤田達成、高校一般・新名哲也が選考されました。



スカイツリー450Mからの展望 3月31日



〈常任委員会〉

日程 平成26年2月16日
場所 支部会議室
出席者 18名
議題
1. 本部・支部・近畿ブロック・大阪連合会・近畿連合会・状況報告
2. 平成26年度事業計画案・予算案審議について
3. 第59回優秀生徒表彰式典について
4. そろばん研修旅行について
5. 各執行部報告
6. その他

日程 平成26年2月16日
場所 支部会議室
出席者 18名
議題
1. 本部・支部・近畿ブロック・大阪連合会・近畿連合会・状況報告
2. 平成26年度事業計画案・予算案審議について
3. 第59回優秀生徒表彰式典について
4. そろばん研修旅行について
5. 各執行部報告
6. その他

日程 平成26年2月16日
場所 支部会議室
出席者 18名
議題
1. 本部・支部・近畿ブロック・大阪連合会・近畿連合会・状況報告
2. 平成26年度事業計画案・予算案審議について
3. 第59回優秀生徒表彰式典について
4. そろばん研修旅行について
5. 各執行部報告
6. その他

〈通信常任委員会〉

日程 平成26年2月
出席者 14名
議題
1. 大阪府支部旅費規程の改定について

行事予定

9/28 第363回 検定試験
9/24 創立記念日
9/14 近畿ブロック親睦会(京都)・理事会
9/7 定時社員総会・分科部会・顧問連絡会

9/6 本支部連絡 協議会
8/31 近畿ブロック 総会
8/24 通常総会 指導者講習会
8/20 訪米使節団
8/12 選手権大会

支部通常総会・本部指導者講習会・会員親睦会

日程 平成26年8月24日(日)

支部通常総会 午前10時

本部指導者講習会 午後1時

講師 立花 晴美 (兵庫県支部)

田中三智子 (大阪府支部)

会場 ホテル大阪ベイタワー

◎詳細については、支部事務局より連絡があります。

◎多数参加してください。

会費納入のお願い

- ◎本部会費 32,000円
- ◎支部 前期会費 30,000円
- ◎生徒安全会 1教室 2,500円

支部事務局の

夏休み

8月11日(月)

~

16日(土)まで